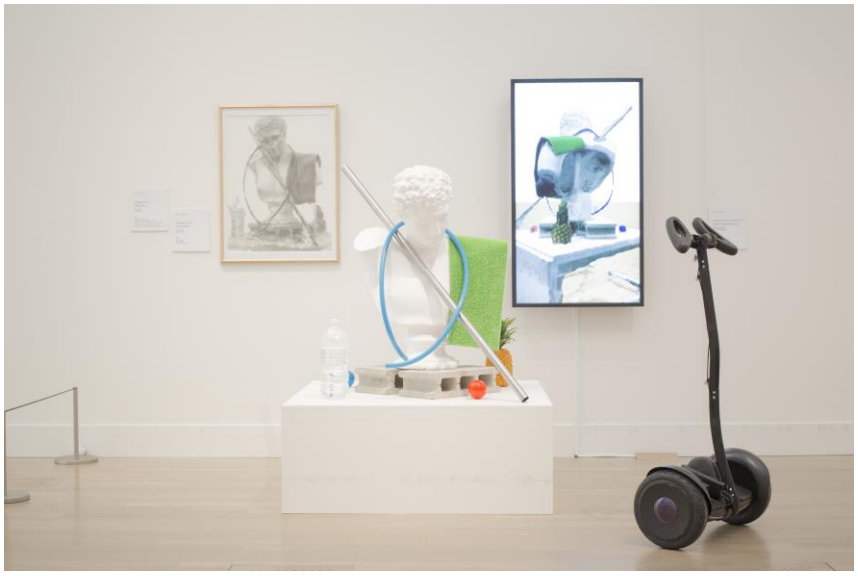
プレスリリース
PRESS RELEASE
2019/06/25

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

「Art Meets 06　門馬美喜／やんツー」

2019 年 7 月 19 日(金)～9 月 16 日(月・祝)



上《千年前の川を渡る馬》2017 年　墨、和紙、パネル　91.1×182.2×5cm　作家蔵　©せんだいメディアテーク　撮影：小岩　勉

下《現代の鑑賞者》2018 年　インスタレーション サイズ可変　作家蔵　撮影：荻原　楽太郎

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

はじめに

アーツ前橋は中堅アーティストの作品を通して新しい芸術の創造と出会う企画展「Art Meets」を毎年開催しています。第６回目は、生まれ育った地域の歴史と深く関わる馬、さらに東日本大震災後に東京と相馬を行き来する途中で眼にする変わりゆく風景を描き続けている門馬美喜と、ドローイング制作や作品鑑賞といった人間の行為を技術によって代替する作品を制作しているやんツーの二人の作品をご紹介します。

門馬の作品は、個人のアイデンティティと深く結びついた絵画表現を通し、人間と自然の関わりに私たちの眼を向けさせます。いっぽう、やんツーの作品は、新しい情報技術を駆使し主観性や芸術創造をめぐる人間の知性のあり方を問いかけるものです。人間にとって絵画や情報技術は自分を取り巻く環境について理解するために生み出したものでもあります。この展覧会は、現代を生きるふたりのアーティストが歴史、自然、情報技術による個人への影響を感じ取り、表現した作品に触れる貴重な機会になるはずです。

アーツ前橋

本展の見どころ

①現代社会を都市化や情報化の問題を通して表現する中堅作家 2 名を紹介します。絵画作品や情報技術を用いた作品が並びます。

②門馬美喜は福島県相馬市出身で、伝統的な祭礼行事である「相馬野馬追」を幼い頃から目にしてきました。その歴史に着目し中国留学で学んだ水墨画による馬の連作、東日本大震災後に相馬と東京の 2 つのアトリエを何度も行き来し見ている風景を〈Route〉シリーズという現在も描き続けている 2 つのシリーズ作品を展示します。

③やんツーは情報技術を使い、近年関心を寄せている「芸術作品を鑑賞する／される」対象やその行為自体を揺るがすような装置を展示します。2012 年には文化庁メディア芸術祭アート部門にて新人賞を受賞しています。

④会期中に各作家が講師としてワークショップを開催。門馬は、建築の廃材となった木片を自由に組み合わせ、それぞれが考える理想のまちを製作し、ブックスタンドに仕上げる工作ワークショップを行います。やんツーは、私たちが日常使用している「Google」では簡単にヒットしない検索を試みます。いわば「インターネットの裏路地」を探索することで現代社会について考察します。

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

開催概要

【展覧会名称】Art Meets 06　門馬美喜／やんツー
【会　　期】2019 年 7 月 19 日(金)～9 月 16 日(月・祝)
【開 館 時 間】10:00～18:00（入場は 17:30 まで）※2019 年 4 月から開館時間を変更しました
【休　館　日】水曜日
【会　　場】アーツ前橋　地下ギャラリー
【観　覧　料】一般 500 円／学生・65 歳以上・団体（10 名以上）300 円／高校生以下無料
※「山本高之とアーツ前橋のビヨンド 20XX 展　未来を考えるための教室」と共通チケット
※障害者手帳等をお持ちの方と介護者 1 名は無料
※児童扶養手当証書をお持ちの方は無料
※「わくわく子どもまつり」開催の 8 月 10 日（土）は無料
※「国際識字デー」の 9 月 8 日（日）は無料
※猛暑割：最高気温 35 度以上の日にご来場された方は観覧料 300 円
【主　　催】アーツ前橋

同時開催企画

【展覧会名称】山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX 展　未来を考えるための教室
【会　　期】7 月 19 日（金）～9 月 16 日（月・祝）
【休　館　日】水曜日
【会　　場】アーツ前橋　一階無料ギャラリーおよび地下ギャラリーの一部
【観　覧　料】一般：500円／学生・65歳以上・団体（10名以上）300円／高校生以下無料
「Art Meets 06　門馬美喜／やんツー」展の観覧券でご入場いただけます。
【主　　催】アーツ前橋
【協　　力】群馬大学教育学部 美術教育講座、株式会社すいらん、学校法人清心学園 清心幼稚園、前橋シネマハウス

プレスプレビュー

同時開催される「山本高之とアーツ前橋のビヨンド 20XX 展　未来を考えるための教室」と併せて行います。

期　　日：7 月 18 日（木）
時　　間：14:00～18:00（※最終入場時間は 17:30）
※14:30 より本展出品作家と学芸員が作品を紹介します。

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

関連イベント

①ワークショップ「Google が教えてくれないこと ―インターネットの裏路地を歩く」

日　　時：7月21日（日）14:00～16:00
会　　場：アーツ前橋　スタジオ
定　　員：先着15名（要事前申込）
対　　象：13歳以上
参 加 費：無料
持 ち 物：スマートフォンまたはノートパソコン
講　　師：やんツー
内　　容：「ググる」以外の検索方法や、一般的な検索エンジンではヒットしないウェブページ（ダークウェブ）など、いわばインターネットの裏路地を皆さんと探訪します。「検索する」行為から浮かび上がる現代社会について考えてみましょう。

②ワークショップ「建築廃材で小さな理想のまちを作ろう ―木製ブックスタンド製作」

日　　時：8月3日（土）14:00～16:00
会　　場：アーツ前橋　スタジオ
定　　員：先着15名（要事前申込）
対　　象：小学生以上（10歳未満は保護者1名同伴）
参 加 費：無料
持 ち 物：20×20cm のブックスタンドをお持ち帰りいただく箱または紙袋
講　　師：門馬美喜
内　　容：ブックスタンドの側面部分に、建築の廃材となった木材を自由に使って思い思いの小さなまちの風景を作ります。

③学芸員によるギャラリーツアー

日　　時：8月4日(日)、8月24日(土)　14:30～15:00
会　　場：アーツ前橋　地下ギャラリー
参 加 費：無料（申込不要、要観覧券）
内　　容：担当学芸員による作品の解説ツアー

作家紹介

門馬美喜

1981 年福島県相馬市生まれ。2005 年東京造形大学造形学部絵画専攻領域概念コース卒業。2006 年中国美術学院および中央美術学院（中国）に留学。アクリルガッシュビエンナーレ 2018 において《Route93ヶ月 相馬/大田区■》が大賞受賞。

〇主な個展
「門馬美喜　個展」（damo kaffee haus、宮城、2018年）、「Route/59ヵ月」（トーキョーワンダーサイト本郷、東京、2016年）、「Route 故郷/被災地に通う道」（ギャラリーなつか、東京、2015年）など。

〇主なグループ展
「OPEN STUDIO 2018」（ART FACTORY 城南島、元麻布ギャラリー、東京、2018年）、「VOCA 展 2018　現代美術の展望―新しい平面の作家たち」（上野の森美術館、東京、2018年）、「コンニチハ技術トシテノ美術」（せんだいメディアテーク、宮城、2017年）、「SICF18」（Spiral、東京、2017年）、「被災地からの発信　ふくしま3.11以降を描く」（福島県立美術館、福島、2016年）など。

やんツー

1984年神奈川県茅ケ崎市生まれ。2009年多摩美術大学大学院デザイン専攻情報デザイン研究領域修了。デジタルメディアを扱い、表現の主体性を問う作品を多く制作する。文化庁メディア芸術祭アート部門において第15回では《SENSELESS DRAWING BOT》が新人賞、第21回には《Avatars》で優秀賞を受賞。

〇主な個展
「Examples」（CLEAR EDITION & GALLERY、東京、2016年）、「夏の福袋'15　正しいらくがき展」（茅ケ崎市美術館、神奈川、2015年）、キュレーターズ・セレクション006「yang02 : untitled 2」（中村キース・ヘリング美術館、山梨、2013年）、「JIZZED IN MY PANTS」（3331 GALLERY、東京、2013年）など。

〇主なグループ展
「20th DOMANI・明日展」（国立新美術館、東京、2018年）、「Vanishing Mesh」（山口情報芸術センター［YCAM］、山口、2017年）、「あいちトリエンナーレ2016」（愛知、2016年）、「動きのカガク展」（21_21 DESIGN SIGHT、東京、2015年）、「札幌国際芸術祭2014」（チ・カ・ホ［札幌駅前通地下広場］、北海道、2013年）、「Mediacity Seoul 2012 -Spell on you-」（ソウル市立美術館、韓国、2012年）など。

提供可能画像

【1】

【2】

【3】

【4】

【5】

【1】門馬美喜《千年前の川を渡る馬》2017 年　墨、和紙、パネル　91.1×182.2×5cm　作家蔵　©せんだいメディアテーク　撮影：小岩　勉
【2】門馬美喜《作られたばかりの高速道路》2015年　油彩、カンヴァス　72.7×91cm　作家蔵
【3】やんツー《現代の鑑賞者》2018年　インスタレーション　サイズ可変　作家蔵　撮影：荻原 楽太郎
【4】やんツー《Avatars》2017年　インスタレーション　サイズ可変　共同制作者：菅野　創　山口情報芸術センター［YCAM］委嘱作品
【5】やんツー《Examples》2016年　インスタレーション　サイズ可変　作家蔵　撮影：竹久　直樹

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

「Art Meets 06　門馬美喜／やんツー」　広報用画像申込書

アーツ前橋　広報担当　宛　FAX　027-232-2016

ご希望の画像の番号に〇を付けてください。画像（JPEG）をメールにてお送りいたします。

＊本展覧会の広報を目的とする場合に限り、ご提供いたします。個人のブログへの掲載や鑑賞等を目的とする場合にはご提供できません。

＊掲載にあたっては、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。

番号	キャプション・クレジット等
【1】	門馬美喜《千年前の川を渡る馬》2017 年　墨、和紙、パネル　91.1×182.2×5cm　作家蔵　©せんだいメディアテーク　撮影：小岩　勉
【2】	門馬美喜《作られたばかりの高速道路》2015 年　油彩、カンヴァス　72.7×91cm　作家蔵
【3】	やんツー《現代の鑑賞者》2018 年　インスタレーション サイズ可変　作家蔵　撮影：荻原　楽太郎
【4】	やんツー《Avatars》2017年　インスタレーション　サイズ可変　共同制作者：菅野　創　山口情報芸術センター［YCAM］委嘱作品
【5】	やんツー《Examples》2016 年　インスタレーション　サイズ可変　作家蔵　撮影：竹久　直樹

◎読者プレゼント用招待券（5 組 10 名様）　□希望します　□希望しません

媒体情報　＊できるだけ詳しくご記入ください。

掲載誌：	
発行日：	発行元：
貴社名：	
部署名：	担当者名：
所在地：　〒	
ＴＥＬ：	ＦＡＸ：
E-MAIL：	

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

記事掲載についてのお願い

・掲載にあたっては、展覧会名称と会期を表記してください。
・画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
・掲載記事やＶＴＲは、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
・取材、収録等の取材は、必ず事前にお問い合わせください。

お問い合わせ

アーツ前橋
前橋市役所文化スポーツ観光部文化国際課　　担当：住友・吉田（学芸担当）、新保（事務担当）
〒371‐0022　群馬県前橋市千代田町 5-1-16
TEL：027-230-1144　FAX：027-232-2016
URL：http://artsmaebashi.jp/
E-MAIL：artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

交通案内
●公共交通機関
　JR 前橋駅から徒歩約 10 分
　上毛電鉄　中央前橋駅から徒歩約 5 分
●自動車
　関越自動車道　前橋 I.C から車で約 15 分

※Pマークの駐車場のご利用に関しては、駐車券に割引処理いたします。